



たしはな

一般社団法人
日本ボーイスカウト
静岡県連盟

〒420-0063
静岡市葵区田町1丁目70-1
静岡県青少年会館2F



富士章受章者 県知事表敬訪問(2頁)



柴田夏帆さんが代表して挨拶



静岡県知事 川勝平太 氏



記念品を受け取る奥村侑香さん

CONTENTS

令和4年度 富士章受章スカウト 県知事表敬訪問	2	カブつうしん、ボーイ通信	10
第24回 全国ベンチャースカウト フォーラムに参加して!	4	指導者だより	11
楽しかったB・P祭 浜松	5	「1級スカウト章」受章おめでとう	13
静岡第14団カブ隊 B・P祭	6	「友情章」おめでとう19名の仲間	13
B・P祭を終えて!磐田	7	第630回 ボーイスカウト講習会 静岡	14
集え! B・Pの元へ 伊豆	8	マスコミコーナー	14
第11回 若き指導者 浜松第30団カブ隊 副長 高塚理枝子	9	令和5年度 静岡県連盟 定時総会・表彰式のご案内	15
ビーバーだより	10	お知らせコーナー	16

令和5年4月
第171号



令和 富士章受 章県知事

時：2023年3月
場所：静岡県庁

令和4年度の富士章スカウトの県知事表敬訪問が行われました。受章スカウト8名全員と村松理事長ほか県連役員が出席しました。受章スカウト代表として柴田夏帆さんが川勝県知事に「富士章を取得するために情報を共有し相談できる仲間、柔軟に対応してくれたリーダー、そして両親に感謝します。B・Pのメッセージである『幸福を得る本当の道は他の人に幸福を分け与えること』、私も『ありがとう』を言うなど周りの人が幸福を感じられるような行動をしていきたい」と喜びと将来への決意を伝えました。この後、静岡県連盟の連盟長でもある川勝県知事から受章記念の盾がスカウト一人一人に手渡され、出席者全員の記念撮影が行われました。

また前日の23日に4名が首相官邸に、31日に4名が赤坂東宮御所参殿に全国代表として参加致しました。



川勝県知事(静岡県連盟長)から挨拶



富田 結衣 静岡地区 静岡第22団

ボーイスカウト活動を始めて11年、富士スカウトになることが長年の目標でした。コロナ禍で活動が予定通り進まないこともありましたが、リモートで会議を行うなど新しい形で活動続けることができました。章を取得するにあたり勉強や部活との両立で大変なこともありましたが、隊長をはじめ多くの指導者の皆様、家族、そして共に支えてきた仲間が存在がありここまで活動することができました。これからは様々な方法で恩返しができるよう自分の技術や知識を深め、後輩スカウトの手本となるよう精進していきます。



柴田 夏帆 静岡地区 静岡第22団

約12年間活動を続け、ようやく富士章を取得することができました。何度もボーイスカウトをやめようかと考えましたが、いつも楽しませてくれる素敵な仲間と支えてくださるリーダーの方たちのおかげで、ここまで続けることができました。コロナ禍でも受験生でもあったこの1年は、活動が思うようにいかないこともたくさんありました。それでも何とか全ての項目を達成できるように、柔軟に対応してくださったリーダーの方々には本当に感謝しています。これからは、後輩スカウトに今までの経験を伝えていこうと思います。



岡本 康佑 静岡地区 静岡第22団

コロナ禍の中で様々な困難がありましたが、保護者や仲間など様々な方に支えられ富士章を取得することができました。スカウト活動を通して主体的に取り組む力であったり、リーダーシップを取る力など、様々な力を身につけることができ、人として大きく成長できたと思います。コミュニケーションをとることが苦手であった私を得意にしたのも、スカウトとして海外派遣や日本ジャンボリーなどに参加し、様々な人との交流の場を多く経験することができたからだと思います。富士章を取得したことに満足せず日々精進していきたいです。



金丸 環 静岡地区 静岡第22団

富士スカウトは私にとってずっと憧れの存在でした。ボーイ隊上進時に、高校三年生の秋までに富士章を取得するという目標から逆算して進級計画を立てたことを覚えています。当時は、初級から五回もの進級を経てたどり着く富士章までの道のりをとても長く感じましたが、約七年かけて富士章までたどり着いた自分を誇らしく思います。今、制服の左胸にある富士章は、達成感と同時に責任感を私にもたらしてくれます。富士スカウトの名に恥じぬよう、自分を律しながらこれからも精進していきます。

4年度 章スカウト 表敬訪問

24日(金)
東館5階 特別会議室



④ 3月23日(木)に当県連盟の受章者4名を含む代表者が、首相官邸で岸田首相から励ましのお言葉を頂きました。



③ 川勝県知事から記念の盾を頂く受章者



大場 隼太郎 静岡地区 静岡第14団



富士章の取得は簡単ではなく、何度か諦めそうになりました。しかしリーダーの方と一緒に活動している仲間、家族の支えもあって取得することができました。本当にありがとうございます。富士章取得の過程で得た知識や技術は、自分の人生においてとても大切なものになりました。ここで終わるのではなく、さらなるスカウト技術の向上に努め、また、自分の団の後輩たちの見本となり、少しでも自分の経験したことを伝え、彼らのスカウト活動に良い刺激を与えられるよう、これからもボーイスカウト活動に励んでいきたいです。

奥村 侑香 浜松東地区 浜松第30団



幼稚園の年長でボーイスカウトに入りましたが、こんなに長く、またこれ程のめり込むとは思っていませんでした。進歩を軸に活動を進める中で、富士章は常に私の憧れであり最終目標でした。挑戦過程では貴重な経験を積み、多くの人と関わり刺激を受けることで、自分の目指すべきスカウト像に出会うことが出来ました。今までの経験と今回の取得は親や指導者、後輩など多くの人の協力のおかげです。感謝の気持ちを忘れず、今後はローバースカウトとして自身の技能向上だけでなく、学んできたことを還元できる活動をしていきたいと思っています。そして少しでもボーイスカウト活動を盛り上げると共に、より良き社会の一員でありたいと思います。

小森 聡太郎 静岡地区 静岡第14団



小学1年生のときにこの活動を始めて、12年が経ちました。楽しいことや嬉しいことが沢山あった中で、つらいことや悲しいこともありました。そんな中ここまで活動を続け、最高位である富士章を取得することが出来たのはひとえに周りの方々のおかげだと感じています。一緒に切磋琢磨した友人、支えてくれた家族、親身になって指導してくださった指導者の方々、1つでも欠けていたら僕はどこかで辞めていたでしょう。手助けしてくださった皆様に今一度感謝申し上げます。

政木 萌那 浜松地区 浜松第12団



この度は富士スカウト章を受章することができ、大変嬉しく思います。私は高校生になった頃、ちょうどコロナウイルスが蔓延し始め、最初の頃は思うように活動ができませんでした。それにより、単章の取得が高校2年生の夏頃となってしまう、高校生のうちに富士章を取得することは正直厳しい状況で、諦めていた時期もありました。しかし、憧れの先輩が富士章を胸につけ活躍している姿を見て、モチベーションがあがりました。皆さんも辛い時期はあると思いますが、是非、諦めず富士章を目指して欲しいです。

スカウトフォーラムは、スカウト運動に青少年の意見を反映させることを目的に、高校生年代のベンチャースカウト一人ひとりが自己の成長をはかり、幅広い社会性を身につけ、相互の理解を深めるための貴重な機会が提供されるように開催されます。

第24回 全国ベンチャースカウト フォーラムに参加して！



富士宮地区
富士宮第25団
ベンチャー隊

佐野 雄一



静岡県連盟代表として第24回全国ベンチャースカウトフォーラムに参加させていただきました。全国ベンチャースカウトフォーラムの3日間という時間は長いようで本当にあっという間でした。地区、県、そして全国とフォーラムを重ね、やっとこ

ここまで来たのかと実感させられる3日間でもありました。このフォーラムに参加するにあたり、自分は2つの目標を持ってフォーラムに参加しました。

第1の目標は県で採択したことを県代表として全国で発表し、それを全国のスカウト達と共有して話し合っ、新たな採択文というものを全国のベンチャースカウト達と一緒に作り上げるというものでした。

そして第2の目標は、他県連のスカウトと交流をすることです。私は今までジャンボリーなどでしか他県連のスカウトと交流をしたことがありませんでした。他県連のスカウトと交流をするということは果たして何が良いのか。それはフォーラムも含めて、静岡県という視野・範囲だけではなく、全国という大きな視野へと範囲を広げて話を聞いたり発言をしたりすることで、体感・実感できるものがとても多く得られるということです。その中でも今回、自分のスカウト活動に対しての未熟さを感じたり、他県連が行っているスカウト活動の取り組みなどを聞いたりして、今後の活動に生かしていける部分がないかと考えさせられるきっかけになりました。フォーラムはとても難しい話し合いです。しかし今後のスカウト活動を展開するにあたって、とても大事な話し合いです。



私が伝えたいことはフォーラムとは難しいことだが、それがかえて楽しいものであるということ。今後、地区や県連で行われるフォーラムに、私も含め1人でも多くのスカウトが関わっていった貰えることを切に願います。



楽しかったB・P祭 浜松

浜松東地区
浜松第30団
団委員長

稲野 吉弘

天候に恵まれ、保護者、指導者に恵まれ、そして存分にはしゃいだスカウトに恵まれた良きB・P祭でした、感謝。

令和5年2月26日日曜日快晴、磐田市ウサギ山公園にてB・P祭は行われました。総勢80人。コロナ禍ゆえに午前中のみの活動にし、負担を軽減しました。

幸いにもこの日は暖かな日差しの中、ビーバー隊からベンチャー隊まで参加しておおいに賑わいをみせました。B・P祭といっても各団・隊ともに思い思いのやり方があると思いますが、この日は団のレクリエーション的なプログラムになりました。それというのも新型コロナ禍で久しぶりにスカウト仲間同志、指導者同志、そして保護者同志、皆が顔をあわせコミュニケーションを図ろうと声があがったからでした。又、今期後半には大きな記念行事を控え団委員や保護者に支援を求め、皆で運営しなければならない場面にきていたからでもあります。

いよいよこの日ベンチャースカウトによる国旗掲揚で始まり、ボーイスカウトの指揮で整列・連盟歌と続き、各隊からの参加スカウトを異年齢構成で再編しました。ボーイからカブ、ビーバーまでを一班とし班長、次長をもうけ班が機能する仕掛けです。案の定プログラムのネックのしつぽとり競技では作戦タイムが功を奏しました。班長や次長の活躍で班は生き生きとし奮闘していました。プログラムは続き手旗によるサイン読み取り競技、同じく各班の作戦の効果は言うまでもありませんが、この手旗にビーバースカウトが興味津々、目を輝かせていました。さてプログラムは続き、団委員長によるB・Pのお話タイムとなりました。全スカウトを周りに集め、ベーデン・パウエル卿のお話しをはじめました。ブラウンシー島実験キャンプ、地球規模の運動を説きました。ビーバースカウトやカブスカウトには難しかったと思いますが皆、耳をダンボにして聞き入ってくれていました。きっと大きくなった時になるほどとうなずいてくれることでしょう。さてプログラムも終盤、団委員、保護者が作ってくれた手料理、おしるこでお昼になりました。こうして皆で協働して楽しんだB・P祭でした。スカウト、指導者、保護者が一致団結して協働することのなんと気持ちのいいことでしょう。スカウトに伝わったかな。ピース。





静岡第14団カブ隊B・P祭

カブ隊 隊長
徳澄 大輔

『具だくさんあんかけチャーハンを作りました』

日時:2月19日、場所:池田神社

あいにくの雨天でしたが、これも経験と屋根を作ってスカウト全員が組集会で打ち合わせた具だくさんあんかけチャーハンを作りました。どのような料理が出来るか内心ハラハラでしたが、スカウトが協力してお世辞抜きで美味しい料理を調理できました。

カブ隊 くま
谷内 透真

暴風と不安をかかえてつくったあんかけチャーハン

本日は、カブと月の輪で自分との料理対決を行いました。朝から天気の良い、不安ある料理対決でした。テーマは「具だくさん」。みんないろいろな食べたい食材を述べましたが、それら全てあてはまる料理がありません。そこで、あんかけチャーハンという隊長の案と多数決で決まりました。いよいよ調理の日——!?雨が降っている!でも、隊長が作ってくれた屋根のおかげで、しっかり調理ができました。みんな真剣に料理に取り組み、それでいて楽しくもやっていました。僕は料理が苦手ですが、みんなや保護者の支えもあり、料理を完成させました。おいしそうなおいで、みんな「待ちきれないー!」とはしゃいでいました。味見するとみんな、「これぜったいうまいやつー」と言っていました。不安をかかえながらつくった料理ですが、いつの間にかそんなこと忘れて、みんなと楽しくやっていました。「いただきます!」出来上がったあんかけチャーハンのお味は…「うまい!」「おいしい!」などの声が上がりました。大成功でした。

カブ隊 うさぎ
大塚 燈真

2月19日に池田神社であんかけチャーハンを作りました。チャーハンにはキムチチャーハンにしました。あんには、ひじきとにんじん、じゃがいも、ぶた肉、玉ねぎ、はくさい、大根を入れました。ぼくは、あんチーム担当の三人で作業し、にんじん、じゃがいも、玉ねぎを切りました。苦労したところは、じゃがいもとにんじんがかたかったので力を入れるところです。あと、雨が降っていたので、とても寒いしぬれるので大変でした。時間が空いたので、チャーハンチームを手伝い、みんなで協力してあんかけチャーハンを調理できました。食べてみたら、キムチの辛さがよくて、あんのひじきも

おいしかったです。今度は、くまの追い出しでふるまうので、しかとうさぎだけで、くまのためにがんばって作りたいと思いました。



磐田地区 委員長
小松 優



B・P祭を終えて! 磐田

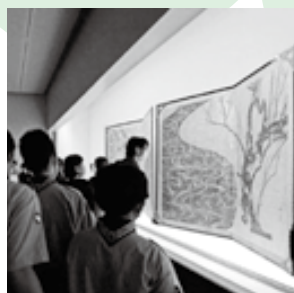
磐田地区では、B・P卿のお誕生日2月20日に最も近い日曜日に地区行事として例年B・P祭を実施しています。今年度は、「ワクワク自然体験あそび」とコラボ企画として計画されました。磐田地区の7ヶ団とワクワク応募者30名とで賑やかに初春のうさぎ山公園を舞台としてビーバー隊とカブ隊は各々楽し

いゲームを、ボーイ隊はパイオニアリングで信号塔の作製を予定していましたが、あいにくの天候により今回は屋内で各隊代表スカウトと各隊長、地区役員にて行うこととなりました。開会セレモニーの中でスカウト表彰を、トレーニングチームによる「アンノウンスカウト物語」のスタントが披露されました。

今年度最後の地区行事は天候に恵まれず予定していたプログラムを実施することができませんでしたが、今年度からの新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、コロナ前と同様な活動ができるようになることを期待してなりません。久しぶりに見るマスク無しのスカウトたちの笑顔がきっとコロナ禍の時期よりも眩しく見えることでしょう。



伊豆地区
スカウト委員長
吉田 昌敏

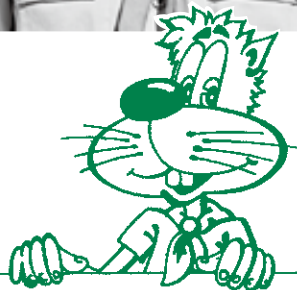


集え! B・Pの元へ 伊豆

令和5年2月19日、熱海市にあるMOA美術館能楽堂をお借りして、伊豆地区・B・P祭が開催されました。昨年、一昨年はコロナ禍の影響で各団での分散開催だったので、一堂に会する事は3年ぶり。また今年度は、旧三島地区・旧伊東地区の統合により伊豆地区として初めての開催という事もあり、参加者はスカウト197人、指導者109人、育成会員44人(受付に届け出のあった人数)総勢350人にもなり、大いに賑わいました。

式典がスタートし、国旗儀礼・君が代を斉唱すると会場内の空気もピンと張りつめました。各団各部門の代表スカウトが、B・P(ベーデン・パウエル)肖像画の前で献花をする姿は、日本連盟が100年続いてきたスカウト活動の重みと自分の将来像を、見ている他のスカウトたちに与えたと思います。地区委員長は、地区開催できた喜びとスカウト活動の大切さを述べられ、地区コミッショナーは、B・Pについて「ラストメッセージ」から引用し、ビーバースカウトにも分かりやすく説明されていました。またスカウト顕彰、優秀スカウト、友情章の伝達なども行われ、少なくともスカウト参加型の体裁は作られているかと思います。

式典の最後には、今夏実施される25WSJ(第25回世界スカウトジャンボリー)に当地区から参加する指導者2人スカウト14人が紹介され、将来の大きな大会へ参加したいスカウトたちへの大きな希望となりました。



浜松第30団カブ隊 副長
高塚 理枝子



第11回 「若き指導者」

スカウト活動との出会いは、人生に於いて失敗は少ない方が良い…と考えていた私を変えました。

保護者としてスカウト活動に関わる中で、まず感銘を受けたのは「できる範囲のことをやるのではなく、やりたいことを実現させるために手段や方法を考える」というリーダーの姿勢です。なんて素晴らしい!我が子にもこの発想で生きてもらいたい!と感動しました。その後しばらくして、カブ隊副長のお話をいただいた頃には、子どものスカウト活動を通して「失敗=ダメではない。肝心なのは、柔軟な考え方でその失敗をリカバーできることなのだ」と学んでおりましたので、スカウト経験者でもない私に務まることなのか?という迷いを振り切り、リーダーの世界に飛び込むことができました。

私が副長になったのは正にコロナ禍で、活動の自粛を余儀なくされ、スカウトの気持ちを途切れさせず、どうしたら安全に活動ができるのかと頭を悩ます時期が続きました。今なおwithコロナの活動を模索し続ける中で、2023年2月26日、浜松第30団では、数年ぶりに団行事としてBP祭が行われました。カブ、ビーバー、ボーイ、ベンチャーのスカウトとリーダーに加え、元ローバー隊の先輩や多くの保護者の参加を得て、にぎやかなBP祭となりました。縦割り班による活動を通して、年少スカウトが年長スカウトを頼り、憧れの眼差しを向ける姿や年長スカウトが年少スカウトを輪の中心に誘い、労わる姿を見ることができました。

もう失敗は怖くありません。今後もスカウトと一緒に好奇心を持って活動に携わっていきたいです。



いつも元気だっ! ビーバーだより

でいきゃんぷ

島田地区 金谷第1団 ビーバー隊 杉澤 恒太



スカウトかつどうでたのしかったのはデイキャンプです。とくにたのしかったのは、スベリダイです。みんなでならんですべったのがたのしかったよ。よるカブさんが火をつかってごはんつくってたのがすごかったです。ぼくもカブさんにな

ったら火をつかってちょうせんしたいです。ぼくもすこしおてつだいで、つくったしょくじはとてもおいしかったです。キャンプのよるは、みんなでげきをみたりうたをうたってたくさんわらってたのしかったです。

スカウトかつどうでなにをするのか、まいつきなにをするのか、たのしみにしています。しらなかったことをしたり、やったことのないことをしたりできてたのしいです。おともだちといっしょにスカウトかつどうできることもうれしいです。いっしょにばすやでんしゃにのってでかけるのも、いつもとちがうたいけんなのでたのしいです。これからもスカウトなかがふえて、たくさんのおともだちとスカウトかつどうをたのしみたいです。



カブつうしん CUB SCOUT

紙芝居を読んで

御殿場・小山地区 御殿場 第6団 カブ隊 土屋 鐘己



「それでは、お願いします」「はい」始まった。

今から、紙芝居を読む。少し練習はしたが、まだまだ心配だ。私は、みんなの前に立つことが嫌いだ。そう、恥ずかしがり屋なのだ。私は緊張しながらも立ち上がり、みんなの前に立った。私が読む紙芝居は、内容はとても良いのだが話が長い。つまり、みんなの前

なの前にいる時間が長くなるのだ。私は緊張しながらも話を読み始めた。私はいつも緊張すると読むのが速くなってしまう。気を付けてはいるものの、やはり速くなってしまう。私は、(落ち着いて!)と心の中で言い寄せた。「パチパチパチ」(ふう、やっと終わった。)ようやく、読み終えたのだ。その時の拍手がとても大きく聞こえた。6団のカブ隊全員が読み終わると、おやつタイムだった。そのときのおやつはいつもの100倍くらい美味しく感じた。

楽しかった たいしゅう会

浜松地区 浜松 第12団 カブ隊 山中 優芽



わたしは、もちつきと、スタンツにさんかしました。

まず、もちつきをしました。おもちは、一から作ります。もち米をうすに入れ、水を入れたらきねでうすの中の水ともち米をおしつぶします。少しあついで、さいしょは大人の人にやってもらいました。そして、少し

さめてきたころ、わたしたちも、もちをつきました。とても楽しかったです。そして食べたら、もっちりしておいしかったです。わたしは、いそべもちがおすすめです。さて、つぎはスタンツです。スタンツはうさぎが出てくるお話で、げきをしました。わたしは、うさぎやくです。うさぎのやくは、一番ことばが多いので家でれんしゅうしました。少し早めのお正月気分をあげることができました。なかまときょう力して、楽しい一日をすごせました。



ボーイ 通信 BOY SCOUT

クリスマス会&餅つき会

富士地区 富士第14団 ボーイ隊 沼田 湊也

12月のクリスマス会ビーバー隊、カブ隊ボーイ隊、ベンチャー隊14団合同行事であり、新型コロナウイルス感染症感染対策の為、3年振りに広見まちづくりセンターで開催。今回は司会進行は、私の所属のボーイ隊の担当であります。また当日ボーイ隊全体で出し物を発表する予定であった。ところがボーイ隊長、副長が欠席だった為、ベンチャー隊に、応援を要請しボーイ隊とベンチャー隊で協力し会進行を行った。出し物のロープ手品では、たくさんの人達からオー、ワート歓声があり、とても気持ちが良かった。

1月の餅つき、法蔵寺で開催。私にとって最後の活動となる可能性の行事です。私立高等学校受験間近だったが、参加し餅をついた。今後は公立高等学校受験とベンチャー隊上進に向け、努力していきます。



指導者だより

B・P祭に参加して

伊東地区 伊東第5団ビーバー隊 副長 小松 弘幸



先日熱海の MOA 美術館において 2022 年度ボーイスカウト伊豆地区のBP祭に参加しました。この日はあいにくの天気、雨と風がひどく、式典後に見学予定だった掃海艇「はつしま」の見学も中止となっ

てしまいました。そこで急きょ美術館を見学した後、熱海の街へ下って温泉の湧き出ている所でゆで卵を作ってその場で食べたり、パワースポットの来宮神社へお参りしたりと最初のプログラムを大きく変更しての活動となりました。これも隊長達が「そなえよつねに」をモットーに日頃から活動しているおかげで、悪天候を見越して別メニューを考え、卵なども用意されていたこともあり、「はつしま」に乗船すること出来ませんでしたがスカウト達は嵐のような天候でも皆楽しんで活動しておりました。



地区結成20周年を迎えて

沼駿地区 清水町第7団 団委員長 野田 一雄

スカウト数減少に伴い全国的に規模が縮小され、沼駿地区も12ヶ団から現在では8ヶ団に。また年々スカウト数が減少し地区としても大きな課題の一つです。現状を打破するためにあれやこれやと策を練るのですが...

11月12日地区結成20周年の式典を無事終了。コロナ禍によりスカウトたちの出席なしで開催され、少々残念でした。各市・町の首長様からの温かいメッセージに心が打たれ感銘いたしました。清水町長関様からは、『ボーイスカウトの最高峰である「富士章」の受章スカウトと面談し、活動の成果や喜びを聞くことができました。そのスカウトの姿は凛々しく、自信にあふれた豊かな人間性を見ることができ、スカウト活動の力に感銘を受けました』とお話いただきました。少人数の中での活動ではあるが、基本をしっかり押さえスカウトが地道にコツコツと努力する姿は、周囲から承認されていると確信することができました。黙々と目標に向かって突き進むスカウトたちに心からエールを送り、「ちかいとおきて」を根幹としたスカウト教育に、今後もB・Pの教えとともに、自立心や協調性、リーダーシップ等身につけられるよう、団一丸となって邁進していく所存です。「初心忘るべからず」で。



B・P祭に参加して

富士宮地区 富士宮第5団 副団委員長 井澤 たまき

私は、富士宮第5団で副団委員長をやらせていただいています。また副務として、ボーイ隊の副長を行っています。

私がボーイスカウトと関わりを持ったきっかけは、現在、ローバースカウトの長男がビーバー隊に入隊したことでした。

最初は、保護者として隊集会に同行してビーバー隊の活動に親しみました。息子がカブ時代には、デンリーダーと

して、カブ隊活動をお手伝いしました。その後、ビーバー隊やカブ隊の副長もやらせて頂きました。現在は団委員とボーイ隊副長を兼務しています。

当団は、ビーバー歌集の「げんきなビーバー」を作曲された塩川敬子さん達が発団された歴史のある団ですが、指導者の数が少なく、隊指導者と団指導者を兼務している者が多いのが問題です。出来るだけスカウトの保護者から隊リーダーになって下さる方が出てくるのが一番望ましいと思っています。

私自身、リーダーになって、子供達と関わり、いろいろな気づきもありましたし、多くの知り合いもできました。普通では出来ないような様々な経験もさせて頂きました。このような良い点をスカウトの保護者に伝えて、リーダーになって下さる方を増やしたいと思います。更に、すそ野を広げるためには、新しいスカウトがどんどん入団してきて、活動に参加して協力してくださる保護者を増やし、その中でリーダーになって下さる方を発掘、確保したいと思います。魅力あふれる団になるよう団運営の一助になるよう頑張りたいと思います。



かつてのスカウトは、今は団委員

清水地区 興津第1団 団委員 古牧 淳



興津第1団にはベンチャー隊とカブ隊に2人の子供がお世話になり、他のスカウト達と楽しく活動をしています。

今のボーイ隊の隊長は、私がスカウト活動をしていた時の隊長です。当時もお世話になったし、子供達もお世話のなっているのだから、少しでも力になれればと思い団委員に登録し、ちょうど1年になりました。

この1年、18NSJ静岡大会が中止になったのは残念ですが、わくわく自然体験、緑の羽根募金、野草料理、ハイキング等々、時にはお手伝いといいながら、とても元気なスカウト達と一緒にプログラムを体験し、スカウト時代を思い出しながら楽しんでできました。そしてボーイスカウトといえば、やはり野営。私のスカウト時代の楽しい思い出の大半もキャンプが占めています。夜、隊長達が寝た後、仲間とテントの中で朝方まで語り合ったり、1人ずつテントを抜け出し肝だめしをしたり、テント1つでも楽しかった当

時が思い出されます。今は、コロナ禍ということもあり、テントも1人1張です。早くマスクをも外せ、本来ののびのびしたスカウト活動を子供達にも思い切り楽しませたいです。

これから、スカウト達がどのように成長していくのか楽しみに、自分も楽しみながらスカウト活動のお手伝いをしていけたらと思います。

頑張れ!月の輪スカウト

磐田地区 磐田第6団 団委員長 城戸 勝英

先日、くまスカウトの月の輪集会(訓練)がありました。月の輪と言えば憧れのボーイ隊へ上進の準備をする大切な活動であり初級スカウトになる課目への挑戦です。昨年より当団のボーイ隊は男子スカウトがいませんが、女子スカウト達だけでも「ゆるキャン」同様月の輪にとってはたくましく映っているようです。月の輪達は、ロープ結び、国旗の掲揚など実際に行う技能にはまだまだですが、「今から始まるので過去がない。だから失敗とは言わないよ。自信もって何回もやってみな」と言う元気に挑戦していました。私も昭和43年(1968年)カブ隊に入隊し半世紀以上スカウトとして活動してますので当然月の輪訓練を経験しました。今でも県内BS仲間から組長と慕われていますが、月の輪組の組長として自分なりに頑張っていた頃を思い出しました。その時はやっと本結びと連盟歌を2番まで覚えたぐらいだったと思います。当時はちぢめ結びまで考査課目に入っていました。懐かしく見ていたら月の輪ハンドブックにサトウ・ハチローの詩「からだでおぼえたものはなれない」が書かれていて、正にB・P の行うことによって学べ、を改めて痛感しました。初級課目はBSの基本であり、月の輪スカウト達には何れは菊、隼、富士と階段を上っていく事を楽しみに期待しています。



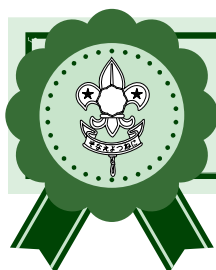
炎暑茶会

沼駿地区 清水町第1団 副団委員長 風間 妙子

清水町1団は富士山の伏流水が湧き出る「泉水源地」の横にスカウトハウスを構えそこで私は現在副団委員長とローバー隊副長をしています。また沼駿地区では「茶道章」の指導・考査員もしています。以前ベンチャー隊の副長をしていた時によく活動中に「抹茶とお菓子」で休憩していたことがきっかけでスカウト達はお茶に興味を持ち「茶道章」の取得やプロジェクト活動に繋げそれが我がベンチャー隊の伝統にもなっていました。お茶会の開催もその一つです。長泉町2団にお誘いいただき割狐塚稲荷神社で「花見茶会」を開き桜の花の舞い散る中でビー

パースカウト・カブスカウトとお茶を愉oshimしました。また清水湧水を汲みスカウトハウスで「野点」をして団の方々やFMかなみ・みしま「VOICE CUE」パーソナリティーの小坂真智子様や表千家「土井宗達」先生をお招きしました。そんな中スカウトの学校行事等の都合で8月にスカウトハウスの庭でお茶会を開くことを無謀にも彼らは計画した事がありました。指導者の助言を得ながら・水の流れる音・硝子の器・風にそよぐ簾涼しさを演出し五感を刺激しても暑さには勝てません。じっとしていても流れ出る汗と蚊の攻撃!それでもお茶を点てお客様をもてなしお茶会は終了無事にやり遂げました。それが「炎暑茶会」です。「炎」は感じる暑さだけではなくスカウト自身が内に秘める想いも熱く燃えて「炎暑茶会」と名付けたのだと思います。また彼らの進歩・成長を感じました。いつもスカウトの活動を見守り寄り添いその成長に感動していましたが実は共に私自身も成長させていただいていることに気づき感謝しております。

今はコロナの影響や我が団の旧運営側の問題などでまったく活動ができなくなっていますがいつか以前のような活動ができることを願っています。有難うございました。



1級スカウト章受章おめでとう 富士スカウト章に向かってガンバレ!!

●1級スカウト章は高度なスカウト技能や、宿泊を伴うプロジェクト運営、地域への貢献や後輩への指導ができます。

地区名	団名	隊	氏名	進級年月日
三島地区	三島第5団	ボーイ隊	オガタ野愛	2023年1月15日
沼津地区	沼津第16団	ボーイ隊	尾澤銀二郎	2023年2月5日
沼津地区	沼津第19団	ベンチャー隊	池田琥太郎	2023年3月1日
沼津地区	沼津第19団	ベンチャー隊	井上兼続	2023年3月1日



おめでとう!! 19名の仲間が友情章を授与されました。

「友情章」は、君の友達に「スカウトになろうよ!」と言って、友達がスカウトに入るともらえる章です。記念品はネームプレートがもらえるよ。次は君が友達を紹介して「友情章」をゲットしよう!

令和5年度「友情章」顕彰者名簿

組織拡充・広報委員会

氏名	地区	所属	氏名	地区	所属
神田実侑	伊豆	三島第14団 C S 隊	大滝柚衣香	志太	藤枝第2団 BVS 隊
長濱湊	伊豆	函南第1団 BVS 隊	坪井ひなた	磐田	磐田第6団 BVS 隊
吉村春徳	伊豆	函南第1団 BVS 隊	坪井ひまり	磐田	磐田第6団 BVS 隊
塩谷亮佑	伊豆	函南第1団 BVS 隊	村松進次郎	磐田	磐田第6団 BVS 隊
永桶光基	伊豆	函南第1団 BVS 隊	ジェンキンス恵真くら	磐田	磐田第6団 BVS 隊
鈴木圭介	伊豆	函南第1団 BVS 隊	吉川大晟	浜松	浜松第12団 B S 隊
勝又香苗	伊豆	長泉第2団 BVS 隊	萩原芽依	浜松	浜松第12団 B S 隊
原戸智久	伊豆	函南第1団 C S 隊	清水彩愛	浜松	浜松第21団 C S 隊
小野田竣介	富士宮	富士宮第25団 C S 隊	高橋暖	浜松	浜松第21団 BVS 隊
富田総一郎	静岡	静岡第22団 C S 隊			

第630回 ボーイスカウト講習会静岡

静岡地区指導者委員会

委員長 北村 誠

- 3月12日(日)静岡県青少年会館でボーイスカウト講習会静岡第630回を開催しました。
- 6地区19名の参加者の皆さんには、大いに楽しみながらBS運動の素晴らしさを学んでいたと思います。
- 講師、スタッフも12月から入念な準備を重ね、余裕を持って当日を迎えることができ、たいへん充実した講習会になりました。



マスコミコーナー

記者は走る!

マスコミ(新聞・雑誌)に掲載された
「スカウト活動の記事」を
紹介します。

令和4年12月20日(火)
伊豆デジタル新聞 掲載



令和4年12月20日(火)
伊豆日日新聞 掲載



令和5年1月17日(火) 伊豆日日新聞 掲載



令和5年1月22日(水)
伊豆新聞 掲載



令和5年2月21日(火)
伊豆毎日新聞 掲載



令和5年1月20日(金) 静岡新聞 掲載



令和5年2月25日(土)
静岡新聞 掲載



令和5年2月20日(月)
伊豆日日新聞 掲載

令和5年度 静岡県連盟 定時総会・表彰式のご案内

「定時総会・表彰式」は、年に1度、県連盟に加盟する全団が一堂に会する唯一の会議です。しかしコロナ禍もあり近年は出席する団の数が減少しています。

令和5年度は新たな企画を追加して開催しますので、是非ご参加ください。

●日 時

2023(令和5)年

5月**20**日(土) 12:00~16:00(予定)

●会 場

静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

静岡市駿河区馬淵1-17-1(JR静岡駅から徒歩10分)

新しい企画

1「スカウト表彰」の対象を拡大します。

従来:富士スカウトのみ

⇒ 今年度:富士・隼・菊スカウトを表彰します

2 定時総会の前に、「活動発表会」を開催します。

内容(案)・県連内の18NSJ実施地区の紹介
・ワクワク自然体験の事例紹介

3「活動展示会」を表彰式・活動発表会と 同時平行で開催します。

メイン会場の「あざれあ大ホール」に隣接する
「小ホール」で開催します。

☆内容(案)☆

- ① ワクワク自然体験の代表事例の詳細を紹介
- ② 「たちばな」の記事で紹介した活動内容の展示
- ③ ユースチームの活動紹介 など

※自団のプログラム作りに役立つ情報を準備中です。

お問合せ: ボーイスカウト静岡県連盟事務局

☎054-255-6185



おしらせコーナー

《 定型訓練 》

ボーイスカウト講習会 静岡第631回 《浜松》

- 日 時: 令和5年5月14日(日)
- 場 所: 浜松市立青少年の家
- 申込み: 4月29日(日)まで
浜松地区進歩・指導者養成委員長 必着

ボーイスカウト講習会 静岡第632回 《富士宮》

- 日 時: 令和5年6月4日(日)
- 場 所: 富士宮市
- 申込み: 5月21日(日)まで
富士宮地区事務局 必着

ボーイスカウト講習会 静岡第633回 《伊豆》

- 日 時: 令和5年6月11日(日)
- 場 所: 伊豆の国市 野外活動センター(茅野っ子ひろば)
- 申込み: 5月28日(日)まで
伊豆地区指導者委員長 必着

ボーイスカウト講習会 静岡第634回 《清水》

- 日 時: 令和5年6月11日(日)
- 場 所: 清水区興津生涯学習交流館
- 申込み: 6月28日(日)まで
地区進歩・トレーニング委員長 必着

ボーイスカウト講習会 静岡第635回 《磐田》

- 日 時: 令和5年7月2日(日)
- 場 所: 磐田市立向笠交流センター
- 申込み: 6月18日(日)まで
磐田地区指導者委員長 必着



WB研修所スカウトコース 静岡第13期

- 日 時: 令和5年5月4日(火)~7日(日)
- 場 所: MOA大仁研修センター
- 申込み: 4月5日(水)まで
県連盟事務局 必着

WB研修課程別研修 静岡第13回・VS12回

- 日 時: 令和5年5月21日(日)
- 場 所: 静岡県青少年会館
- 申込み: 4月22日(日)まで
県連盟事務局 必着

県連盟定時総会・表彰式

時: 令和5年5月20日(土)
会場: あざれあ大ホール

ボーイスカウトへのお問い合わせ 入隊希望は

ボーイスカウト静岡県連盟事務局 (☎054-255-6185) まで
ホームページもご覧ください。 <http://bs-shizuoka.com>

編集 日記

今回の「たちばな」は令和4年度富士スカウト顕彰知事表敬訪問と各地区BP祭の特集を行いました。コロナも沈静化に向かい、新年度の活動が始まりました。前年度以上に充実した誌面を目指します。皆様からのご意見・情報及び取材依頼を県連事務局までお寄せ下さいますようお願い致します。

広報「たちばな」編集部 杉山文朗

広 報 “たちばな” 2023年4月
発 行 所 一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟
〒420-0068 静岡県静岡市葵区田町 1-70-1
県青少年会館内
TEL054-255-6185 FAX054-255-6186
<http://bs-shizuoka.com>
編集責任者 総務・広報委員長 松田 茂
印 刷 三富印刷株式会社
静岡県浜松市東区上新屋町 30-1 TEL053-467-4678
発 行 部 数 2,700部